

第2期 西部海区海面漁業調整委員会 委員候補者の推薦・応募状況（募集期間：令和2年10月23日から令和2年11月24日まで） 最終報告
 募集人数15人に対して合計19名（推薦13名、応募6名） 内漁業者等17名（推薦13名、応募4名）

受付番号	氏名	年齢	性別	区分	主な経歴	漁業者等該当	推薦した団体など				備考
							漁業の状況	団体の名称及び代表者氏名（氏名、性別）	設立の目的（職業、年齢）	推薦の理由	
01	山本 幸宏	73	男	漁業	H26.3～ 深浦漁業協同組合 代表理事組合長 H26.7～ 青森県漁業信用基金協会 理事・監事 H27.6～ 青森県漁業協同組合連合会 理事・監事 H28.5～ 西北水産振興会会長 H28.5～ 青森県小型いか釣り漁業協議会 副会長 H29.9～ 青森県西部海区漁業調整委員会 委員	該当	ワカメ養殖 刺し網 籠 定置網 年間従事 150 日	深浦漁業協同組合 代表理事組合長 山本 幸宏	水産業協同組合法に基づき、共済、購買、販売、製氷、利用及び指導の各事業を行う団体。	いか釣り漁業に長年従事しており、現場に精通している。 定置網、ワカメ養殖業に熱心に取り組み、後進の指導に当たっている。 西北水産振興会の会長として、調整能力に優れている。 西部海区漁業調整委員会委員に在任中である。	
02	西崎 昭一	57	男	漁業	H27.9～ 青森県西部海区漁業調整委員会 委員 HH28.4～ 新深浦町漁業協同組合 理事 H28.4～ 青森県大型定置協会 理事	該当	定置網 マグロ延縄 刺し網 年間従事 260 日	新深浦町漁業協同組合 代表理事組合長 小枝 裕幸	水産業協同組合法に基づき、漁民の協同組織の発展を促進し、経済的、社会的地位向上と水産業の生産力の増進を図るため。	約 40 年間、定置網に従事しており現場に精通している。 定置網、刺し網漁業における漁獲、魚価の向上、鮮魚の取扱い、販路拡大に熱心に取り組み、地区のリーダー的存在である。 西部海区漁業調整委員会委員の経験者である。	
03	黒滝 洋子	65	女	漁業	H29.8～ 有限会社山三黒瀧商店 代表取締役	該当	定置網 年間従事 250 日	深浦定置漁業者協議会 佐藤 公雄	漁業調整	定置漁業に長年従事し、平成 29 年以降、有限会社黒瀧漁業の代表として、現場に精通している。 真面目な兄（黒滝聡）の意思を継ぎ、不安定な定置漁業の経営を担っている姿勢は同業者からの評価は高い。 クロマグロの資源管理についても、乗組員を教育して、誠実に取り組んでいる。 次期漁協役員候補としても注目されており、その資質を十分有している。	
04	嶋元 武信	53	男	漁業	H29.3～ 深浦漁業協同組合 監事 H29.7～ 日本海機船底曳網漁業者会 会長 H29.7～ 青森・秋田沖合底曳網漁業入会協議会 会長 H29.11～ 青森県機船底曳網漁業連合会 理事	該当	沖合底びき網 年間従事 130 日	青森県機船底曳網漁業者会 嶋元 武信	相互入会、操業調整	30 年近く採介藻漁業や沖合底曳網漁業に従事しており、平成 29 年からは入会や、沿岸漁業との操業調整に参加していることから、現場に精通している。 国補助事業の適用を受け、経営安定に関する成果をあげており、現在もその成果を継続している。本会の会長であり、青森・秋田沖合底曳網入会協議会の会長であり、調整能力に優れている。また、全国底曳網漁業連合の理事としてその任に当たっている。	

					R1.6～ 全国底曳網漁業連合会 理事					
05	富田 重基	68	男	漁業	H1.7～H4.11 青森県機船底曳網漁業連合会・監事 H4.11～ 青森県機船底曳網漁業連合会・理事 H10.5～ 青森県無線利用漁業協同組合・理事 H14.4～ 東北漁業無線協会・理事 H15.7～ 青森県無線漁業協同組合連合会・監事 H18.5～ 社法・全国漁業無線協会・監事 H21.3～ 鱸ヶ沢漁協協同組合・代表理事組合長 H29.6～ 青森県漁業信用基金協会・理事 H29.6～ 青森県漁業協同組合連合会・理事	該当	沖合底びき網 年間従事 130 日	鱸ヶ沢漁業協同組合 代表理事組合長 富田 重基	水産業協同組合法に基づき事業を行うための団体。	本組合の代表理事組合長を務める同氏については、地域の主力漁業である底建網漁業の操業秩序を確立してきたほか、隣協との操業調整等諸問題の解決・解消に尽力してきた人物であり、調整能力に優れている。また、漁業者からの信頼もあり、当組合の所属の有無を問わず、常に漁業に関する相談に対応している。代表理事組合長に就任以降、多忙となった現在においても、早朝から現場で漁業者と意見交換し、新しい情報の収集等を欠かすことがない等、現場に精通している。
06	立石 政男	69	男	漁業	S60.5～H6.9 脇野沢村漁業協同組合・理事 H6.9～ 脇野沢村漁業協同組合・代表理事組合長 H20.8～ 青森県漁業調整委員会・委員 H29.6～ 日本漁船保険組合青森県支所・運営副委員長 H29.6～ 青森県漁業共済組合・理事 H29.7～ むつ湾漁業振興会・会長 R1.5～ 青森県ほたて流通振興協会・副会長理事 R1.6～ 一社・青森県ほたて漁業振興基金・副理事長	該当	ホタテ養殖 底建網 眼鏡網 桁曳き網 年間従事 250 日	脇野沢漁業協同組合 代表理事組合長 立石 政男	水産業協同組合法に基づき漁民を組合員として設立された協同組合	30年間、ホタテ養殖業に従事しており、現場に精通している。 ホタテ養殖技術の改良に熱心に取り組み、安定した生産を上げている。 陸奥湾漁業振興会の会長であり、調整能力に優れている。 西部海区漁業調整委員会の委員経験者である。
07	野土 一公	70	男	漁業	H23.4～H26.3 竜飛今別漁業協同組合・副組合長 H26.4～ 竜飛今別漁業協同組合・組合長	該当	一本釣り 採介藻 年間従事 200 日	竜飛今別漁業協同組合 代表理事組合長 野土 一公	水産業協同組合法に基づく事業の実施	当組合の代表理事組合長として、漁業者の意見を取りまとめ、低迷した組合運営を向上させている。 長く漁業に従事してきたことから、現場に精通し課題に対する対応も迅速である。

										津軽海峡におけるまぐろ漁業の操業調整では、県の漁業調整官仲介のもと、当事者代表として協議に出席し、相互の漁業操業を確保した操業協定書を作成する等の成果をあげており、調整能力に優れている。	
08	佐々木信昭	75	男	漁業	H3.3～ 三厩漁業協同組合・理事 H21.3～H30.3 三厩漁業協同組合・代表理事組合長 H23.7～H26.6 青森県漁業協同組合連合会・理事 H26.6～H29.6 青森県信用漁業協同組合連合会・理事 H29.6～H30.6 青森県信用漁業協同組合連合会・副会長 理事 H28.8～ 青森県西部海区漁業調整委員会・委員	該当	採藻、採貝漁業 従事日数 200 日	—	—	現在、西部海区漁業調整委員会の委員であり、長年の漁業経験や知識をいかし、引続き、微力ではございますが貢献したいと考えています。	
09	牧野 勇次	67	男	漁業	H12.3～H30.3 三厩漁業協同組合・理事 H30.6～ 三厩漁業協同組合・代表理事組合長 H30.6～ 青森県漁船海難防止・水産救済会・理事 H24.8～ 青森県西部海区漁業調整委員会・委員	該当	まぐろ・ひらめ一本釣り 年間従事 200 日	—	—	現在、西部海区漁業調整委員会の委員であり、長年の漁業経験や知識をいかし、引続き、微力ではございますが貢献したいと考えています。	
10	古川今日志	44	男	漁業	H18.4～H24.3 大戸瀬漁業協同組合・青年部長 H18.4～H26.2 青森県水産業改良普及会・理事 H21.9～ 青森県西部海区漁業調整委員会・委員 H27.2～ 青森県定置漁業協会・理事	該当	大型定置 年間従事 280 日	新深浦町漁業協同組合 代表理事組合長 小枝 裕幸	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	26年間大型定置漁業に従事しており、現場に精通している。 魚価の向上のため、船上にて神経締めを行い、その技術を漁業者に広めている。 早くから青年部長をしており、責任感が強く、地元漁業者からの信頼も厚く指導力にも優れており漁業振興の発展に尽力し、これからの漁業者を牽引できる高い資質を十分有している。 西部海区漁業調整委員会の委員の経験者である。	
11	尾野 明彦	58	男	漁業	H18.6～H21.6 車力漁業協同組合・監事 H21.6～H24.6 車力漁業協同組合・代表監事 H24.6～H27.6 車力漁業協同組合・理事 H27.6～	該当	底建網 一本釣り 年間従事 110 日	車力漁業協同組合 代表理事組合長 尾野 明彦	水産業協同組合法に基づく事業を行うことを目的とする。	車力漁業協同組合代表理事組合長として、海面利用の調整に当たっていることから調整能力に優れている。 また、漁場利用の考え方について中立であることから、組合員の評価も高く、特に若手漁業者から信頼を得ている。 資源管理の取組に当たり漁業者の指導に積極的に	

					車力漁業協同組合・代表理事組合長 H17.6～ 青森県漁業共済組合・理事					取り組んでいるほか、各種相談にも誠意をもって対応している。
12	中川 善文	74	男	漁業	H11.2～H27.7、R2.3～ 深浦漁業協同組合・理事 H17.5～ 鱒ヶ沢・深浦地区沿岸防犯協会・会長 H18.8～H27.7 青森県日本海機船底曳網漁業者会・会長 H19.9～H27.7 青森県機船底曳網漁業連合会 理事 H19.9～H27.7 青森・秋田沖合底曳網漁業入会協議会・会長 H20.8～H27.7、H28.8～ 青森県西部海区漁業調整委員会・委員 H26.2～H27.7 日本海・北九州広域漁業調整委員会・委員	該当	潜水器漁業 沖合底曳網 年間従事 250 日	—	—	永年にわたり、漁業に従事し、履歴記載のとおり平成 11 年 2 月から 16 年間、深浦漁業協同組合の理事を務めたほか、青森県日本海機船底曳網漁業者会会長、青森・秋田沖合底曳網漁業入会協議会会長などの要職を歴任した。 平成 20 年 8 月から青森県西部海区漁業調整委員会に選任され、常に漁船漁業の発展に尽力してまいりました。 今後も引き続き漁業者のために尽くしたいと思います。
13	川山 光則	66	男	漁業	H2.11～ 青森県西部海区漁業調整委員会・委員 (その他役職：R2.11 現在) 中泊町議会議員	該当	やりいか定置 年間従事 120 日	—	—	現在、海区委員であり、今後もしばらく漁業状況を見守っていきたい。
14	田村 義夫	71	男	漁業	H13.3～ 平内町漁業協同組合・理事 R2.8～ 青森県西部海区漁業調整委員会・委員	該当	ほたて養殖業 刺し網 従事日数 270 日	平内町漁業競争組合 代表理事組合長 三津谷 廣明	水産業協同組合法に基づき、組合員が共同して経済活動を行い、漁業の生産効率を上げ、もって組合員の経済的、社会的地位を高める。	41 年間、ホタテ養殖業に従事しており、現場に精通している。 ホタテ養殖技術の改良に熱心に取り組み、安定した生産を上げている。 平内町漁業協同組合の理事であり、調整能力に優れている。 現在、西部海区漁業調整委員を務めている。
15	福田 隆一	77	男	漁業	H9.5～H12.5 青森県東青漁業士会・理事 H12.5～H15.5 青森県東青漁業士会・会長 H16.3～H19.3 平内町漁業協同組合・監事 H19.3～H22.3 平内町漁業協同組合・代表監事 H24～ 青森県西部海区漁業調整委員会・委員	該当	ほたて養殖 なまこ刺網	平内町漁業競争組合 代表理事組合長 三津谷 廣明	水産業協同組合法に基づき、組合員が共同して経済活動を行い、漁業の生産効率を上げ、もって組合員の経済的、社会的地位を高める。	60 年以上、ホタテ養殖業に従事しており、養殖技術に精通し、地域においても幅広い経験からリーダー的尊大としてたよりにされている。 平内町漁協漁業連合研究会会長、東青漁業士会会長等勤め、地域の指導者として多くの人材を育成し、他の漁業者の模範となっている。 8 年間西部海区漁業調整委員を務めている。
16	柴田 武信	69	男	漁業	H25.3～H31.3 平内町漁業協同組合・監事	該当	ほたて養殖 刺網	平内町漁業競争組合 代表理事組合長	水産業協同組合法に基づき、組合員が共同して経済	50 年間ホタテ養殖漁業を営んでおり常に安定した生産を続けている、地域のリーダーとして信頼さ

					H31.3～ 平内町漁業協同組合・理事		年間従事 270 日	三津谷 廣明	活動を行い、漁業の生産効率を上げ、もって組合員の経済的、社会的地位を高める。	れ、現場にも精通している。 平内町漁業協同組合資格審査委員 2 期（6 年）、監事 2 期（6 年）、現在理事就任中である。 今般の改正漁業法が施行されることにより公募となったことから、上記の経験等踏まえて適任と判断した。
17	堀内 精二	57	男	漁業	H29.8～ 青森県定置協会・会長 R1.9～ 水産庁水産政策審議会・委員	該当	定置網 従事日数 250 日	新深浦漁業協同組合 代表理事組合長 小枝 裕幸	水産業協同組合法に基づき、漁民の協同組織の発展を促進し、経済的、社会的地位向上と水産業の生産力の増進を図るため。	長年、定置漁業に従事しており、現場に精通している。 青森県定置協会の会長、日本定置協会の理事を務め、さらに、水産政策審議会の委員も務めており、水産行政・関係機関との調整にも長けており、海区調整員になり得る資質は十分に備えている。
18	野坂ナリ子	76	女	中立	H12.4～R2.2 野辺地漁業協同組合・女性部長 H18～ 野辺地町健康のへじ 21 委員 H20～ 野辺地町観光協会・理事 H20～R1 野辺地町防災委員 H18～ 青森県女性組織協議会・役員 H19～ 青森県西部海区漁業調整委員会・委員	—	—	—	—	養殖技術の改良に長年取り組み、現在では高品質のホタテ貝を生産できるようになった。漁業意見、知識も豊富になったので海区漁業者のために貢献したいと考えている。 特に西部海区は、水温等に課題が有るので、地域別に努力していきたい。
19	東 信行	58	男	学識	H6.7～H9.9 豊橋技術科学大学工学部・助手 H9.10～ 弘前大学農学部生命科学部・助教授、准教授、教授 H25.8～ 青森県西部海区漁業調整委員会・委員	—	—	—	—	これまで、生物学・水産学の専門家として青森県西部海区漁業調整委員となり、委員会に参画してまいりました。 主として野生生物を対象とする水産資源管理は、漁業者が主体となって行う資源管理に加えて、自然環境、社会環境が大きく変化することが予想され、より適切な対応が必要とされる近未来において、学術的な立場から本県水産業に貢献いたしたく、応募いたします。